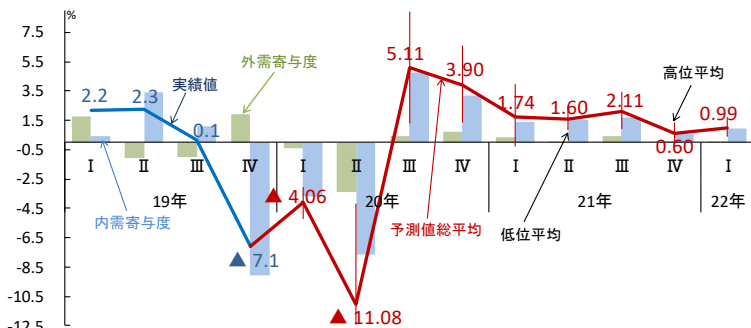


<日本経済フォーキャスター36人(機関)による予測の集計>

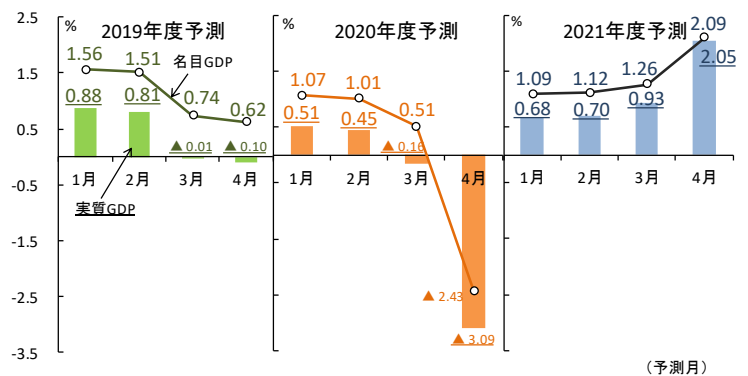
**1 実質経済成長率(前期比年率)は、2020年4～6月期は▲11.08%と2桁の落ち込み、四半期では3期連続のマイナスに。7～9月期は5.11%のプラスに**

実質経済成長率(前期比年率)は20年1～3月期に▲4.06%、4～6月期に▲11.08%と3期連続マイナス成長。四半期(前期比年率)での2桁のマイナス成長は2009年1～3月期の▲17.8%(実績・内閣府「国民経済計算」)以来である。7～9月期以降プラスに転じる見込み。



**2 20年度の実質成長率は▲3.09%のマイナス、21年はプラス2.05%。**

実質経済成長率は、19年度、20年度ともマイナス成長となり、21年度にプラスに転じる。名目成長率は19年度はプラスだが、20年度にマイナスとなり、21年度はプラスに転じる見込み。

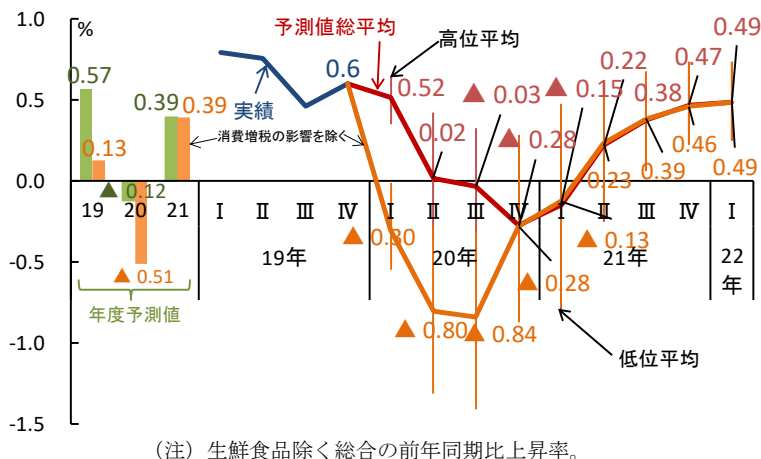


	2019年度	2020年度	2021年度
内需寄与度	0.1 (0.1/0.0)	▲2.5 (▲1.2/▲3.6)	1.8 (2.5/1.1)
うち民需	▲0.6 (▲0.5/▲0.7)	▲2.9 (▲1.7/▲4.1)	1.5 (2.1/0.8)
うち公需	0.7 (0.7/0.7)	0.5 (0.8/0.3)	0.3 (0.4/0.2)
外需寄与度	▲0.2 (▲0.1/▲0.3)	▲0.6 (▲0.1/▲1.2)	0.3 (0.7/▲0.1)
実質GDP成長率	▲0.10 (0.00/▲0.19)	▲3.09 (▲1.76/▲4.34)	2.05 (3.00/1.23)

(注1) 値の見方: 平均(高位平均/低位平均)  
(注2) ①・②の寄与度は簡易計算によるもので厳密なものではない。

**3 消費者物価上昇率(前年同期比)**

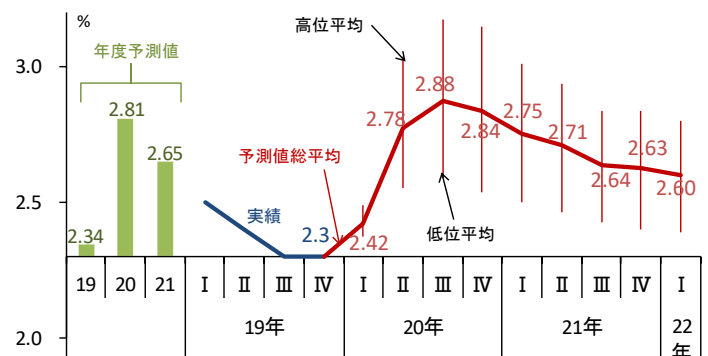
20年1～3月期以降低下し、7～9月期にマイナスに転じる。10～12月期の▲0.28%まで低下した後、22年1～3月期の0.49%まで反転していく。年度では、20年度は▲0.12%となるが、21年度はプラスに転じる。



(注) 生鮮食品除く総合の前年同期比上昇率。

**4 失業率**

20年7～9月期に2.88%まで上昇、その後22年1～3月期まで低下が続く。



## 5 (特別調査)オリンピック開催

今回の予測に、2021年度のオリンピック開催を織り込んでいるかを尋ねたところ、22名が織り込んでおり、2名が織り込んでいないと答えた。織り込んでいない場合には、その理由を尋ねた。(回答数 24)

### ◆2021年度のオリンピック開催を予測に織り込んでいるか

織り込んでいる	織り込んでいない
22	2

(注) フォークキャスター数(名)。

### ◆予測に織り込んでいない理由

①開催経費がどの程度膨らむのか見通せない	0
②再延期・中止の可能性も否めない	2
③その他	0

(注) フォークキャスター数(名)。複数回答。

## 6 (特別調査)新型コロナウイルス対策

今回の予測に、新型コロナウイルス対策としての財政出動を想定しているかを聞いたところ、24名全員が想定していると答えた。(回答数 24)

その規模は、平均でみて2019・20年度の合計で名目GDP比5.76%である。(回答数 21)

### ◆新型コロナウイルス対策としての財政出動を織り込んでいるか

想定している	想定していない
24	0

(注) フォークキャスター数(名)。

### ◆想定している財政出動の規模(2019・20年度合計)

名目GDP比(%)	5.76
-----------	------

詳細版は4月10日にホームページで公表予定

公益社団法人 日本経済研究センター  
100-8066 東京都千代田区大手町1-3-7  
日本経済新聞社東京本社ビル11階  
電話 03-6256-7796 FAX 03-6256-7925  
URL: <https://www.jcer.or.jp/esp-forecast-top>